



CHIBABANK

# 中国レポート

2018年8月号

中国のペット市場について

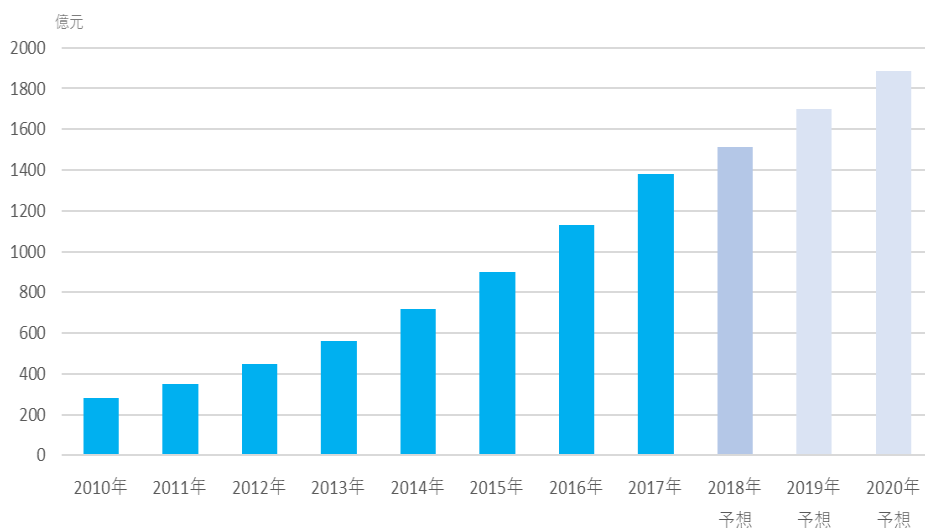
千葉銀行上海駐在員事務所

## 1. はじめに

中国の産業情報サイトである「中国産業信息网」によると、2017年の中国のペット市場規模は前年比約13%増の約1,380億元（約2.2兆円）となり、2020年には約1,900億元（約3兆円）にまで拡大すると予想されています。

（ご参考：2017年の日本の同市場規模は約1.5兆円）

【中国のペット市場規模の推移】



（出所：中国産業信息网）

中国の全世帯におけるペットを飼っている世帯の割合についても、2015年の10%から2017年には17%まで増加し、約5,900万世帯に達しています。ペットについては、犬と猫が多く、それぞれ約5,000万匹、約3,800万匹となっています。

このような中、日系企業も中国を有望地域と捉えて、中国市場に参入しています。そこで今回は、中国のペット市場拡大の背景や、中国のペット市場の動向、日系企業の取り組みなどについて、レポートいたします。

## 2. 中国のペット市場拡大の背景について

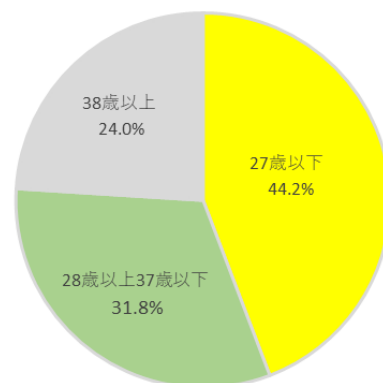
以前、中国では「ペットを飼う人の多くは高齢者で、子供が巣立った寂しさをペットで紛らわせている」と言われていました。

しかし、ここ数年、飼い主の若年化が急速に進行し、足元では27歳以下の若者が全体の約45%を占めており、所得水準の底上げに伴う若年層のペット人気の高まりがみられています。

この要因について、職場で激しい競争やプレッシャーにさらされる若者が増加しているなか、ペットを飼うことで孤独や不安を癒したいというニーズが高まっていると分析されています。

また、ペットは中国人の心の拠り所としての存在感を強めています。ペットを飼っている人の8割超が、ペットを子供や家族といった存在だと考えており、このようなペットの家族化が、市場の拡大に繋がっていると指摘されています。

【中国のペット購入者年齢層内訳】



(出所：「中国産業信息网」)

### 3. 中国のペット市場の動向について

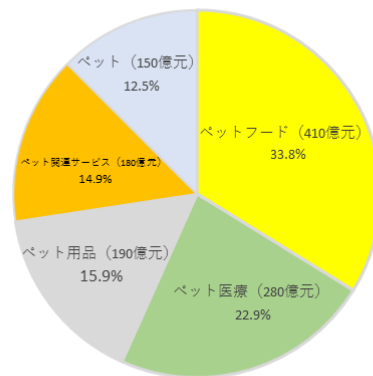
中国のペット市場については、「ペット」「ペットフード」「ペット用品」「ペット医療」「ペット関連サービス」の5分野が含まれています。

「中国産業信息网」によると、2016年のペット市場の5分野うち、「ペットフード」が約410億元（約6,600億円）と、最も規模が大きくなっています。

ブランド別では、外資ブランドが人気で、足元では中国国内のペットフード市場に占める海外ブランドは約70%となっています。その中でも、米「マース」社、マース社傘下の「ロイヤルカナン」社、スイス「ネスレ」社がそれぞれ約24%、約21%、約21%とシェアの大半を占めています。

「ペット医療」については、予防接種や寄生虫駆除の利用が多く、最近ではペットの健康診断も人気が高まっています。また、中国国内のペットの医療機関数も10,000カ所を超えており、ここ5年間で約4,000カ所増加しています。

【2016年のペット市場（シェア割合）】



(出所：「中国産業信息网」)

また、中国のペット市場コンサルティング会社「北京馳鋭文化伝媒」のレポートによると、アリババ系のネット通販サイトでのペット市場関連商品の売上高は、2017年に前年比約30%増の約307億元（約5,000億円）と大幅に増加しました。売上高が最も大きかったのは、犬猫用の美容ケア用品で、増加率は前年比約142%となりました。

このほか、中国の民泊予約サイトではペット同伴が可能な施設が人気であり、2018年上半期における予約件数は前年同期比で2.5倍となるなど、各種分野で拡大がみられています。

## 4. 日系企業の取り組みについて

ペット用品製造販売会社「ドギーマンハヤシ」は、2001年に上海に現地法人を立ち上げ、2003年にはペットフードの生産工場を設置しました。その後、2014年に山東省青島にもペットフード工場を竣工しており、中国のネット通販サイトでも様々な種類のペットフードを販売しています。

また、大手衛生用品メーカー「ユニ・チャーム」は、2010年に中国に参入し、犬猫用のドライフードや、ペットケア用品の販売等を行っています。

このほか、各種販売促進支援・ペット事業などを展開する「ボンビグループ」は、上海市にペットショップを2店舗構えており、ペット用品の販売やトリミングなどのサービスを手掛けています。

このように、日系企業は中国のペット市場における各種分野に参入しています。

## 5. おわりに

国民1人あたりの犬・猫の飼育数をみると、米国が0.57匹、日本が0.15匹であるのに対し、中国では0.06匹であることから、将来的な発展余地があり、日系企業のビジネスチャンスも拡大も見込まれます。

ペット市場の拡大に伴い、中国ではペットの葬儀サービスなどの新たなサービスもみられていることから、引き続き動向に注目が集まりそうです。

千葉銀行 上海駐在員事務所では、最新トピックスや投資環境など、中国に関する情報をタイムリーに提供する体制を整えております。中国に拠点をお持ちのお客様や、中国への進出を検討されているお客様は、最寄りの取引店を通じ、お気軽にご相談下さい。

以 上

※ ここに掲載されているデータや資料は、投資等の判断となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身のご判断でなされるようお願いいたします。また、弊行はかかる情報の正確性や妥当性については責任を負いません。  
※ 本レポートに関するお問合わせは、千葉銀行 市場営業部 海外支店統括グループ  
(Tel:03-3270-8526、Email:kaigai\_tokatsu@chibabank.co.jp) までご連絡下さい。